

# ああ、結婚！

## 一婚活日記一

### 第6回

黒田長宏

#### <2月27日>

ネットの全国的な婚活の方で初めてお会いした女性との3回目面会で、相手の勧めるサプリの説明会に行ってきた。昼食先で合流し、説明を聴いた後で購入した。それが相手の条件ということで、かなり個別的な変わった話だが、応じることで婚活は続く。何しろ1000人に応募して、会う気になってくれた一人である。こちらとしては崖っぷちどころか、既に落ちてしまっているのではないかという状況である。感謝しなければならない状況である。

#### <3月5日>

ネット婚活のお相手だが、サプリを売りたいがためなのかという疑惑もないとも言えない。その上、明日が4回目の予定だが、集合場所と時間がまだ連絡がない。夕方にメールを入れておいたのだが、どうも信用出来ない面がある。しかし、いなくなってしまう方がさみしいし、気を揉む人だが、東京スカパラダイスオーケストラが峯田和伸と組んだ歌がテレビから流れて来て、面倒くさいのが愛なんだと言っていた。短気は損気どころか、喪失感は大きい。

#### <3月6日>

夜にラインが入った。これも少々疑惑を感じてしまうのだが、婚活相手の母方の親戚が亡くなり、その影響でデート延期にしてとの事。本当かよと思ってしまったが、すぐ後から3月のスケジュールを送ってきたので、会ってくれるつもりはあるのだと思い、こちらの都合を返した。

昨日今日の連休に入る前は出っ放しになる連休かと思っていたが、逆に2日間こもり切りの連休となった。だが、な

んとか理解し合い、この婚活チャンスをものにしたいと思っている。

#### <3月10日>

お相手がラインに16日だが夕方になるかもと書いてきて、延期しておいてさらに夕方はないだろう。もっと長い時間会いたい旨を書いて、どうなるかと思ったが、予定を変えて朝から会えると書いてきたので、大人気なくて悪かったというようなことを書いて、それで返事待ち。

疲れる。こちらは強く出られるような立場でないのだが、腹が立ったら伝えておかないと、ためて爆発は良くない。

#### <3月12日>

出来れば会ってくれている人が良いのだが、応募が来ていた。そんな甘い話はないと思いながら、年齢やルックスなど比較してしまいそうな人だったらどうしようと緊張したが、有難い事に、中国出身の37歳の人で再婚の10歳の子供がいる人だった。日本だけではなくて、中国出身で日本で働いている人も、再婚者やシングルマザーがかなり登録されているようである。

世界的な個人主義は家族や夫婦を壊しているのではないのか。私は重複して交際するような疲れることはしたくないので応募はストップしている。前回は49歳と51歳の再婚や再々婚の外国の人をお断りしたが、今回は若い人だった。

#### <3月16日>

婚活の4回目の面会は、映画と食事だったが、お相手がおねだりする人なため、大丈夫なのかというもあるが、だいたい言いたいことも言ってきた。映画が、『去年の冬、君と別れ』という、サスペンスで重い話だったが、彼女もかなりサスペンスなんじゃないかと思った。いまだにミステリアスでわからない。

#### <3月26日>

5回目の婚活面会は、『ボス・ベイビー』というアメリカでヒットしたらしい映画。お相手が選んできた。

吹き替え版である。春休み中だからか平日なのに、ほぼ満席ですごい熱気だった。主に若いお母さんと子供の組み合わせだった。だがそれに見合う素晴らしい映画に感じた。彼女は遅れてくる癖に「チケットを買っておけ」と開きなおったり、相変わらずミステリアスなサスペンスで、一日で四度位だろうか、ののしり合いになったりした。でも、またサプリ関係で助けてくれといわれ、言い合いのあと、助け

てしまった。

こちらにも限界があるが、他にお相手がいないのだから仕方ない。だがこの人では黒田家が潰れてしまうのではないかという危機感もある。

かまきりの雌に喰われる雄の心境だろうか、ハラハラして生きている実感はある。このお相手の場合、一体私はどうなってしまうのだろうか。まだ破局になっていないようだ。出来れば、黒田家がどうなろうとも、一緒になっていただきたいと思ってしまうのだが。

#### <3月28日>

3日で実家に帰った前妻とだったらどうだっただろうかと思う、「プリマリタルカウンセリング」。5度ほどお会いした段階で婚活相手とやってみようと思った。組織のサイトにメール打診したら、遠藤壽彦先生から返信メールが来て、4月5日に可能だという。

先生の住まいは比較的近いところにあり、婚活相手に電車で茨城県へ来てくれるようラインで、交通費を往復3千円支給するからと書いたら、「5千円なら行きます！」と、！まで付けてきたので、「わ、わ、わかった」と返信した。

遠藤先生の、『結婚・心の準備講座』を婚活相手と受講する予定になった。婚活相手は利益の出る交通費のおかげで、ご一緒して下さる可能性は高いと思う。

#### <4月2日>

昨年11月の亡き祖母の入院あたりから忙しくなっているが、今日は特に何もしない休日。夕方にネット婚活を久しぶりに眺めながら、50歳の私の条件で、出産の可能性の考えられる交際相手を探すのは難しいとつくづく思った。現在の交際相手を大事に考えないと大変だと思う。

#### <4月6日>

昨日、6度目の交際は、(一社)日本結婚カウンセリング協会の遠藤壽彦先生のところへ伺い、3時間ほどプリマリタルカウンセリングをしていただいた。前妻が3日で実家に帰ってしまい、ネットでいろいろと調べているうち、そうした動きがあるのを知ったが、茨城県ではまだ初めてのケースとなり、今後普及が望まれるところとの事。この場をお借りして、婚前のカップルがする離婚予防のカウンセリングは大切だと私からも訴えたいと思う。

今回、婚活のお相手もユニークな人ではあるものの、私の

計画に付き合ってくださったのはありがたいことだった。だが、つくづく婚活とはお金が出ていくものだと感じる。

しかし、前妻はほとんどデート時代はお金がかからなかったのに、弁護士費用で多大に出費となってしまったから、やはりどうしても婚活は金がかかる。他の男性については知らない。

#### <4月8日>

昨秋の祖母の入院と今年の祖母の死去から、喪主とインフルエンザと交際相手が出来たが、ユニークな人で振り回されているのかというように、突然いそがしくなっている上に、10数年ぶりにやってきた持ち回りの部落の班長。

今日は勤務を終えてから、今年度の各部落の班長らの顔合わせに出席したが、内容が懇親会とのことで、よく知っている人達は話をしているが、私は知らない人ばかりで、居づらいのでわずか30分で、トップに挨拶して帰宅してしまっただけ。どうしてこいそがしいのが集中したのか。ただ、持ち回りで渋々とは言え、地域の役割も対人援助的な行為なんだろうな。

他には、交際相手にプリマリタルカウンセラーの講座を受けてもらうための、お金を支払うというのも、私の一月の給料分くらいの額をあげてしまうなんて、まだ結婚してもないのに、変な気もするが、交際相手のためになると思うし、離婚しない講座を受講すれば、意識してくれるとも思ったし。遠藤先生から私に申し込み用紙がメール経由できたが、交際相手でないかわからないので、交際相手のラインに、遠藤先生にメールしてくれと頼んだ。午前中には24日のデートの候補地をラインしていたばかりで、しつこいかなとも思ったが、急ぎの用事である。

#### <4月10日>

婚活相手から衝撃的な告白を受けた。名前と年齢を詐称していた。デートの約束に二度も1時間も遅れたり、変な人だとは思っていたが、まさかであった。だが情が出てしまい、遠藤先生にもメールしておいたし、婚活の担当の社長にも事実をメールした。団編集長にも事前にこのことをメールしたところである。心理関係者で知り合いには全員に知らせて、コメントを聞きたい心境だった。どうすれば良いのだろうか。黒田家先祖代々に実子を作らないことになるとお詫びするしかないのだが、私も若い頃に結婚しなかつ

たのも悪い。だが、私には子供はできると信じ込んでいたので、現実を思わされた感じもしている。これからどうなっていくのか。私の母親にも事実を伝えた。

#### <4月13日>

婚活のお相手から、一旦婚活を辞めるが私とは連絡を続けるがいいか、とラインが来た。婚活の社長からもメールが来て、それらの内容から、彼女が家族経営の婚活会社のスタッフで、サクラであることが判明した。

私はお相手を好きになってしまい、婚活の社長からのメールでようやく気持ちが整理できた。ラインに、サクラとは婚活はできない、とお別れの告白を送った。傷つけず、もう他の人にもするなというような内容で送ったつもりである。ただサプリメントは私の意志で服用を続けるつもりがあり、わずかながらお相手の利益の部分にはなるかも知れない。交際中、二本の彼女の紹介の映画は、『去年の冬、君と別れ』と『ボス・ベイビー』だったが、どちらも観たのは本当だし、彼女との出会いがなければ観ないでしまった映画かもしれない。

サクラにひっかかったわけではあるものの、意味深な映画の気もした。食事もおごらされて、婚活規約では違反なのか、婚活社長がそうした意味のことを言われたが、初めて食べるような金額のランチにしても、彼女が喜んで食べているのを観ているのは嬉しく、きっと金持ちがホステスにしているような事は、詐欺でもなく、本心かも知れないというところもあった。本名を教えてくれたのは、彼女の家族経営の人の判断だとしても、私を一応見込んでくれたからかも知れない。だがネットで調べると以前の事件が出てきて、彼女の年齢詐称もわかり、ネットで調べなければ、年齢詐称は続いていたはずで、そこらへんもぎりぎりの出来事だった。依然として厳しいが、妊娠出産できる人と会えるのか、1000人応募して会えたのがサクラ一人の状況である。50歳で低収入気味の条件は婚活には非常に不利なのがわかる。ただ、私は彼女のような人への包容力は足りないだろう。だから別れの告白をしてしまった。

もし、彼女の年齢が本当だったら、サクラでもまだ彼女に挑んでいたかも知れない。そういう意味では、先祖代々の遺伝子を途切れさせていいのかという迷いが、彼女の実年齢が45歳と10歳さばを読んでいたことがネットでわかったのが、ぎりぎりの幸いだったのかも知れない。

彼女が勝手に私のカードから引き出そうとしたときに、キャッシング契約してなくて、引き出せず彼女が、「黒田さんには神様ががついているのかもね」と語ったことが思い浮かぶ。預金はあげてしまったが、ただ、困っていたので感謝だとは言っていたので信じたい。全てが嘘だったとは思いたくない。書いてきて涙が浮かんでくる。好きになってしまっていた。だけど、別れの告白をした。今日は休みで、東京に早めに入り、婚活会社の社長に連絡して、懲りずに、また新たな婚活相手の相談をする予定である。未練がましいが、1時間も遅刻してくるところなんかは、サクラをしている彼女の罪悪感から潜在意識がしているのかも知れない。分析のしすぎだろうか。違うか。

#### <4月13日夜>

激動の一日だった。結婚相談所の社長に経過を報告しに東京に行った。社長のメールに同意しなければさらに彼女と交際を続けて、結婚までなんともっていかうとしていたのだが、じっくり見つめてみると、結婚詐欺の部類であろうし、サクラであり、名前と年齢を詐称していたのである。私が彼女のフォローに熱心になり、ある講座の代金を出してあげるとまで言ったことで、彼女が私に本名を知らせたのだが、その名前からネット検索して、彼女の実年齢が発覚し、社長に報告したのだった。そこから社長が調べてくれて、詐欺的な面があるとわかった。交際相手とは、ラインで朝から昼頃まで通信し合い、こうしたことをしてはいけないこと、不利になることを繰り返し書いた。

社長は残念だが、そういう人は治らないだろうという。私は彼女に好意を抱いていたので複雑だったが、そうした悪い傾向のある人を擁護してしまいたくなるのが、そういう人の魔力なのかも知れない。社長によれば、ほかにも本部に苦情が彼女に関してあるという。問題傾向を起こしてしまう人であるのははっきりしてきたかも知れない。だがなぜ、わざわざいづれ暴露されてしまうような事をしてしまうのか。だが、偽名以外はさすがに本当だと言いながら、実は年齢も違っているのだった。違うでしょうと何度か確認して、本当は10歳さばを読んでいたことを言った。周囲の何人かに彼女の行いを伝えると危ないと言っていた。その通りになってしまった。しかし、詐欺であろうと交際は楽しかった。ラインだって彼女がきっかけで初めてしたし、繰り返しになるが映画もみた。だから複雑である。社長によると本

部から除名だろうという。彼女は連絡はとっていけないのかとラインに書いてきたが、揺らぐ、お別れだという事を、不正はせず、くれぐれも身体には気をつけて欲しいとできるかぎり親身に文章で伝えた。

昼の既読で書き込まなくなり、社長から規則だからと言われて、夕方、社長の前でラインのやりとり全文を消去した。彼女は悪いのは悪いが、交際はしてくれた。交際してくれない人は1000人を超えたのだ。複雑だ。サクラの詐欺の人のほうが楽しい時間は与えてくれた。だが、それは認められないことなのだ。社長との話で90歳を超えて介護施設にいるおばあさんが、まさに仲人の鬼で、いまだに、介護施設でどうやるのかは詳しく聞かずじまいだが、仲人をしていて、社長に相談の電話が来るのだという。しかし、彼女については、わざわざされるとひどいことになることをしてしまうのだから、心理カウンセリングが必要な人にも思える。なんだか愛憎というか、複雑な辛い出会いとなってしまった。

昨秋の亡き祖母の入院から、死去と喪主と、その後のインフルエンザ罹患とその後に、応募したあとすぐに反応があり、10日の2月9日の平昌オリンピック開幕と同時にスタートした今回の婚活だが、2ヵ月ちょいで、サクラとなって詐欺疑惑の人との複雑な終え方をしてしまった。さみしい思いでいる。彼女には治って欲しいものだ。

#### <4月14日>

今日は勤務が浮足立っていた。元妻からの超スピード離婚などでなにかしらアピールしたいと思い、志願してこのマガジンの連載をさせていただいているわけだが、難しいとは薄々思いながらも、楽しい経過にしたいはずが、1000人によく1人の交際相手が詐欺師だったとは。こんなに女性に苦しめられる人はどのくらいいるのだろう。昨日は、当日ゆえに、母親に経緯を話す途中で声が詰まり、織田信成とは良い人なんだろうなと思わされるように、泣き声になったほどだったし、躁鬱的な感じになりやすいようだった。これを書いている現在(20時45分頃)も多少残っている感じ。結婚相談所の社長がメールにて、

#### <4月15日>

昨夜は文章作成中に眠気を催し、途中のまま眠ってしまったようだ。あまり全体を長くしすぎると次のマガジンに収まりきれなくなるから、詳細に書きたい大事件だが、それも

意識しなければいけない。別に詳細を記録しておけば良いかも知れないが、そこまでの気力もない。だが、リアルタイムに記録しないと気持ちが風化する。だが誰にも見られない状態で終わる文章が多いことを思うと、マガジンに提出できることが貴重である。母や婚活の社長は、「もう忘れて次へ移れ」という。それが普通の考えだろう。普通はどうしようもないし、忘れずにまた連絡してしまうのは危険かも知れない。別れたのに意地もない。惚れてしまって痺れているが、婚活の社長からのメールで、昔の仕事の時もなんとか粘ってしようと考えながら辞めるときは急激に辞めてしまった自分を思い出す、別れを切り出してからは速かった。彼女に買わされた健康製品の契約の解除が平日のため、事件の後が土日になってしまい、それだけ残しているが、それも早く明日に電話して終わらせたいという気持ちだ。それでも、買わされたのではなく、買ったし、血液サラサラ効果で良さそうな面もあるし、せめてもの彼女への売り上げかとも思ったが、婚活の社長は婚活中の金品売買は禁止だから辞めるべきだと言っていた。母や社長との話中では突っぱねたが、それも考えを変えた。変えたら私は逃げ足が速い。冷淡なのかも知れない。粘っても逆を決めたらすぐなのだ。これも性格なのだろう。またエゴグラムを受け、彼女がかなり低く、私がかかなり高かったのは、従順な子供のような性格の部分だった。

まだ彼女とラインでのやり取りだけだったが、最後の交流はまだ一昨日に終えたばかりで余韻がある。母も婚活社長もさっぱりと忘れて次へ移れという。普通は当然の事だが、私は対人援助学への参考になるかはわからないが、サクラを、結婚詐欺をしてしまうような人と2ヵ月間、6回のデートで婚活していたわけで、そうした人の微妙なしぐさをそばでみたわけだ。だが、記憶はだんだん遠のく。婚活社長も、今は苦しくても時間の経過だけが解決になるよと書いてくれた。だが、苦しさとともに、結婚詐欺まで実行してしまうような人の微妙な部分を垣間見た所も忘れていってしまう。この事件だけで今回の日記は終えてしまっても十分な価値だと私は思うくらいである。締め切りはまだ一か月以上もある。この後の展開まで記録すると膨大になるかもしれない。だが、忘れる前に、思い出の中に、民事事件や刑事事件にまでなるケースもあるだろうし、決して軽いとは言えないだろう嘘を実行してしまう人がなくなるた

めのなんかのヒントが、交際にあったのではないかという面を、逆に忘れられるために、ここで発散したい気持ちである。

昨日は職場の上司と同僚1人に、「結婚詐欺に遭ってしまいました」と話して笑いも出たが、躁鬱な気持ちが少し軽減した。忘れようと努めて精神的には、心の奥の層に閉じ込めてもどこかで出て来るのかも知れない。時間の経過とともに、文章として残すのも、できれば誰かに見てもらうのも、回復の手段なのではないか。

#### <4月15日>

サクラへの恋の文章を作ってしまい、今日は詳しく書く気がないが、少したったら新たなネット婚活を再開する。

実子にこだわってしまい、難しいながらお相手は38歳以下の希望で妥協せずに、応募する予定。

まだ引きずってはいるが、2ヵ月ぶりに婚活応募の再開をした。6人に送った。1000人でサクラ1人のみという実績だが、結論づけるのは早いと思う。今までの私は考えられなかったことだが、子連れの人まで応募してしまった。とにかく昔菊池桃子が好きだった時の桃子みたいな写真だったからである。

#### <4月16日>

まだ提出まで1ヵ月位ある所で既に多量になっていると思うが、さらに、今回の結婚詐欺遭遇事件を詳細にしたものを4月15日に組み込み、別個のその部分だけ団編集長に送ってしまったが、犯罪心理と対人援助の参考に、実際の体験談だから参考になれば良いと思うが、さすがに、連載と同時に掲載できる量ではないので、ここではカットした。

今朝もまだ、サクラの将来が心配である。だが、そうした人が45歳まで無事で、まだやっているのか、急にはできないだろうというのも考えたりする。東京新聞のコラムに、60歳の女詐欺師は雰囲気があったみたいなのがあり、いるのかなと思ったが。カウンセリングを見つけて、一緒に治していく度量は私には無かったが、婚活の規則で全く交流なしにするとかの兼ね合いもあり、なにが善悪かというものもある。もともと、詐欺にあったら怒って、ひどい場合は訴訟する人もあろうが、私は加害者を心配するという心理に陥った。

#### <4月16日>

婚活社長が送ってくれたように、がっかり状態は時間が解決するだろう。さらに2ヵ月ぶりに10人に応募して婚活相手募集を再開した。ルックスで本命が1人いるが、今までの私は回避していた、子連れ離婚の人であり、窮地になると抵抗感さえ乗り越えてしまうのかと自分の心理の不思議さを思っている。相当美人に見える人なら子連れ再婚者でも、美人に見えない未婚者よりも良いかも知れないという感情が出て来る。ただ、美人に見えなくても結婚までしてしまったのが元妻であり、美人に見えた時もあったのも感覚の不思議である。美人に見えなかった復讐なのかどうか、ひどい目に元妻には遭ってしまったが。ただ、これもあまり考えられる人がいないかも知れないが、離婚者も、加害して離婚した人と、被害を受けて離婚した人では、再婚相手としても違うだろう、被害者離婚の人は再婚しやすいのではないかという思いも仮説したりする。それは関係性なのか、どっちもどっちなのかはわからない。

#### <4月18日>

勤務休日で早朝からネット婚活。15日に応募した人は10人位だったのに既に残りは2人。本命は残っていて、どうにかならないかと思っているが、応じてくれなければどうしようもなく、2つのネット婚活に29人追加。31人の連絡待ち。以前には考えられなかった、再婚者とシングルマザーを中心に選んだ。初婚だと実の子の可能性を考えて37歳までにすると、50歳の男では13歳も年齢差があり、初婚でなくても難しいのかも知れないが、私の年収の状態もあるし、難しい。再婚子なしでも難しいのだと薄々思う。シングルマザーでも難しいとすると、既に私の条件ではかなり難しい。詐欺師との婚活のトキメキが懐かしい。

#### <4月18日>

茨城県の婚活に行ったが、詐欺師事件の話をしてしまったのもあるが、担当者に該当者はいないか聞いてやる方法をとって、自分で探さないでしまったが、結局、該当者がいないと判断。少し間をあけて次は行こうと思ったが、その前にネット婚活で決めたい気持ち。詐欺師紹介の健康サプリの解約申請書入り封書が来ていたので、書いてポストに提出した。さみしいような変な気持ち。

#### <4月18日>

本命に断られた。この時点で26人に応募中。再開して既に15人に断られた。2つの婚活で重複している人もいるよ

うだからのべというのか、のべ1150人位に断られている。お会いしたのは詐欺師1人。今後どうにもならないのだろうか。部落の仕事もあつたり歓送迎会があつたりなんだか出来事が集中している。引きこもりたい。

#### <4月20日>

締め切りまでまだ1か月と少しもあり、既にあまり長い文章を追加できない紙面の関係になっていると思うので、そこを考えて提出日付近まで書き加えたいが、私の、これを書き始めた元妻との離婚騒動以前の20代からの結婚適齢期(これが揺らいでしまったのもいまだ独身の原因の一つか)の時にどうして結婚出来ていなかったかというのはまだ書いていない。

元妻と出会う以前は、茨城県の婚活だけで4人会ってもらえたのだから、それだけでなんとか会える人は出るかと思っていたが、50歳になるとかなり無理を感じるようになってしまった。実の子が諦められず、対象を38歳くらいまでにしている無理?もある。ネットだと38歳の出産確率が15%だと言っているところがあった。交際相手の詐欺が発覚していなければ、えらく金のかかる女性だと思いがらも、24日にまた交際予定だったから、ずいぶん間が空いたもので、まだ4日もある。回復の早いほうなのかかわからないが、感情の揺れは、随分落ち着いたように思う。茨城県の婚活ではとても足りないと思い、お金はかかったが、全国のネット婚活という参加規模の大きな所中心にまたはじめたが、小学生の女の子のいるシングルマザーでも断られてしまうのがわかった。ルックスが好みの女性だったので会ってもらいたかったのだが、これでは初婚の年齢差の人は来ないなとも思ってしまう。別の民間一社でやっている婚活組織などは、男女とも40歳以上のような熟年カップルの婚活をテーマに打ち出したりしているが、これだと実の子が出来ない。ライフサイクルは人間が生物である限り付きまとう。女優の山口智子のように、夫の唐沢寿明も容認しているからだろうが、子供を産まない人生を選んだなどと堂々と言ってしまふ人さえいる。私はこのような多様化された発言が、結婚したい人や子供が欲しい人全体には思考が分散されて不利になると思っ危惧しているのだが、私自身がどうしてこんなに年齢がいつってしまったのか。元妻との離婚裁判の2年半の時間の経過が惜しまれるが、それはそれで結婚の在り方を訴えた私の自負だ

と思っている。この日記の前半のように、一人だけ交際相手が見つければ期待のある明るい文章が続くようになるのだから、たった一人の異性の出現で感情が毎日が変わってしまうのだから、実の子への執着というハンディキャップを捨てられないので、そうした特殊性もあるものの、続けるしかない。年取と年齢なのか、どうしてこんなに相手を受けてくれないのかと思う。

そして新潟県知事が女子大学生との援助交際で辞職というスキャンダルが出た。東京大学医学部からの医師で弁護士で知事というスーパーエリートが、3万円で女子大生と共謀して売買春をしていた。そして私はその人の何パーセントの給料なのか知らないが、手もつながらない人に15万か20万かの詐欺被害にあつたりしている。そして同い年の50歳である。複雑な思いがした。この辞職した知事と女子大生に憎しみまで感じるが、保守?もセクハラ発言で相変わらず汚いが、リベラル?も、その知事の事を潔いとかわけのわからないことを言っている。いかに社会に貞操観がないかと思ひ知らされて、ネットでリベラル?な人達に、援助交際した人を擁護するのは変だろうと当たり前のことをアドバイスする始末である。だがわからないだろう。女子大学生は3万円で身体を売るが、結婚は遅れるのかも知れないし、金持ちと結婚する人なのかも知れない。その女子大生にお咎めはないし、1000人応募しても誰も交際してくれない女性達にもお咎めなどない。

#### <4月22日>

紙面と文章量との兼ね合いも感じるが、あせるなとか、いったん突き放すとかいう情報もやってきているのだが、ネット婚活では、競争があるからかとか、そもそも私の設定が、私の立場から難しすぎるのか、将来を見渡せる神のような目があるとしたら、その目は既に不可能を続けているのを見ているのかなとか、1000人に応募して会えたのが詐欺1人だったことへの不安が、本当に結婚出来るのかという不安が、数日強く出てしまい、ぐれ気味で、婚活の社長には罪はないが、詐欺から救ってくれた面もあるのに、疑惑のようなことを感じたり、不信である。それは私が悪いとは思ふ。不信ならば、ネット婚活に出ている女性たちに向けたほうがまだ正しいか。どうしてあんなにいるのに、会ってもくれないのか。詐欺師との交際の時は、具体的な行動ばかりの記述になれたのに、今は不安な心理ばかりが記

述となる。だが私は知っている。一人の異性が現れたら感情は瞬時のように変化してしまうことを。職場などで告白できないからネット婚活をしているのだが、もし告白出来たらという人も数人いたりする。茂木健一郎さんが一時、『偶有性』なんて言っていたけど、将来がわからない所での挑戦は不安が募る。確率的な面も教師かも知れない。どうしても50歳になってしまい、婚活しているのかまで書くと今回に掲載しきれないだろう。

#### <4月23日>

職場の歓送迎会があった。歓迎会3人と送別会1人。ノンアルコールだったが、質問ゲームを提案してしまったら、私に、「このところのラブはどうですか？」という質問が来てしまい、「婚活詐欺にやられました」と演説した。さらに、看護師さんの Tさんは独身かと聞いたら、高校生の息子のいる既婚者らしい。得難い情報を得た2時間だった。鍋や刺身など大変美味だった。婚活相手が詐欺師だとわからなかったら、明日は千葉県の南房総まで行って魚料理を食べるつもりだった。それは未遂に終わったが、美味しいものを食べる運命の時期だったのだろう。送別会のほうの女性は、9年前にオンラインゲームというので知り合ったのだという。想定外な出会い方だ。ある意味ネット婚活もオンラインゲームだろうか。バトルの仕方が精神的だが。

#### <4月24日>

詐欺師だったが婚活相手と最後のデートの約束の日だった。交際中、次の交際は必ず約束していた。だが、今日は以前の休日の過ごし方に戻ってしまった。連休の前半でもあり、車の6か月点検に行った。その間に茨城県の婚活に電話して確認したが、現在のところ該当者なしとの事。そこから逆方向だが一気に献血に行き、成分献血をした。休日に犬も歩けば棒に当たるような出会いもない。棒は失礼だ。とにかく自暴自棄になっても意味はない。チャンスを信じろ。そして、詐欺師との交際の全ての行程が終えた。初めて会ったのは平昌オリンピック開会の日だった。

#### <4月25日>

連休後半。雨。今日は応募したい人さえ1人もネット婚活に出ていない。どうして慶応とか明治学院とか、年収800万円とか600万円とかいう女性ばかり出てくるのか。しかもルックスもまあまあで。こんな人ばかりでは婚活にならない。不愉快。と書いたあと、新規会員でない人から踏ん張

って午前中ほどんどを費やして75人待ちの状態にまでした。詐欺師さんとの交際以来、集中力が無くなり、出掛けたりと勉強してなかったが、午後からやらないといけない。金にはならないが。

#### <4月29日>

かなり時間をかけてネット婚活で応募を増やした。60人前後増やしただろうか。こう書いてからさらに追加し、(検索の仕方もあるんだな)夜の時点で130人応募した人が残っている。既に今日応募して断ってきた人も20人を超えている模様。本当に見つかるのか先が不透明ながら、ほかにどうするか思い浮かばず、とにかくやってみるしかない。

#### <5月1日>

職場では男性の薬剤師さんに歓送迎会の時に何人か独身事務員さんの名前を出したが、誰でしたっけと名前を聞いたり、ネット婚活の社長がロシア人の婚活もしているの、日本人がダメなら、ロシア人の人でも良いと連絡したら、探しておくよ返信がきたりして、焦ってしまって、このようなアクションをしてしまった。外国なんて行ったこともないのに、大丈夫なのか。完全に全く忘れてしまったが、学生時代にいちおう、第二外国語がロシア語だったのを思い出した。恥かしい。

#### <5月2日>

また大騒動になってしまった。婚活の社長は親には話さないで進めたほうが良いという意見だったが、私は親には伝えるべきと考えるので、それが元なのだが、婚活社長から、ロシア人が一人会えるというので、女の子のいる再婚者だったが、私は妥協するしかない。日本人の女性は相手にしてくれないと思って応募したのだが、その後で母親に伝えたら狂ったように怒り出して、絶対に外国人との結婚は許さないと、狂いだしたので、こちらも抵抗したが、負けて、結局、婚活会社にキャンセル料を払うことになり、情けないので結婚相談所もやめてやろうと思ったが、最後に婚活社長に電話しているうちに、退会はしないことにした。相当に母親とも婚活社長とも激論になってしまい、徒労だった。母親は72歳だが、感覚に限界があるらしい。私の度量も無く、グローバリズムは無理だった。嫌な気持ちだ。正直、このネット婚活は成婚料が高かったり、女性の立場が高いのが難点かと思い、違う方向を模索しようかとも思ったが、それも面倒で、なあなあで続けることにはした。婚活社長

だって神様ではないのだから良い所ともしっかりとこうであれば良いのという面はあろう。母親の場合、気に喰わないと自殺するというのだから始末に負えない。鬼母である。母子癒着なのか。

だが、大元は、日本の女性が希望が高すぎるころにもあると思う。ただ、私が実子を諦めず、年齢差の離れた女性にだけ応募しているミスマッチもある。

#### <5月2日>

しばらく腹の虫がおさまらず、今日のトラブルを機に、ネット婚活は退会してしまったほうが良かったのかどうか。退会せずにしてしまったが、多少社長への不信もあったりした。だが、結果論に過ぎないとも思う。別にロシア人でなければどうしても嫌だという理由もない。これまで応じてくれた人は、詐欺師以外にないが、今後はわからない。絶望的というわけでもない気もする。ひどい日々だ。

#### <5月3日>

こんなに苦しい婚活体験からの実感。規範的で封建的であるほど誰もが結婚出来て子供も多く生まれた。女の自由度が増すのど、家庭は崩壊し、少子化となっていく。昔は女が不利だったわけではなく、男も規制の中で慎ましかった面もあったのではない。多様性に惑わされてライフサイクルを破壊された。(ロシアの件は反動か)

#### <5月6日>

夜中2時半頃までやってしまったが、もともと別の用件からSNSで知り合った社長が、結婚相談所で、その社長に聞いてみようというので始めたそこでの婚活だった。ネット婚活が主だというので驚いたのが最初なのを思い出した。結婚相談所というと、一人をピックアップしてくれて競争なしでお見合いするのかと思っていた。そうした最初のところから忘れていた。結婚相談所の場合、女性が社会的に有利な状態の人がほとんどのようになるのは、入会金や月々の会費、そして成婚料がけっこう本格的な金額で、それだけ本気度が高いのである。私のように、結婚相談所の一つが自身でサクラをするようなケースは、社長が23年やってきて初めてとか言っていたような気もする。個々の結婚相談所が集まったネットワークで、それで企業がやっているネット婚活みたいな仕組みになっているのである。違うか。よくわからないが、それで、ネット婚活を始めた。設定で時間を費やした。4つのネット婚活に入った。結婚

相談所の集合よりは出会い系のような危険もあるかも知れないが、4つ入っても、月々にすれば結婚相談所の集合体と同額位で、具体的に言っても大丈夫だろうから書くが、1万円くらいで、入会金も成婚料もない。成婚料の有無の違いは大きい。だがそれは私のように所得の低い人の感想で、お金がある人なら、女性も多額の支払いをして本気度の高い結婚相談所のほうが良いだろう。だが、私のような所得が低い場合は、女性のほうは無料で、男性月々数千円のようなほうに、出会いがあるかも知れない。対人援助学マガジンは3か月ごとなので、今回は様々なドラマがありすぎて、量が多くなってしまっていると思うが、それだけリアルだとは思ふ。細部がリアルを語るのだと思う。どうしてめげない根性なんだと思う人もあるかも知れないが、もとをただせば、職場などの周辺の人に告白も出来ず、では女性のほうも探しているのがはっきりしている婚活しかないだろうというのが発端である。しかも若い時に無理してでも頑張るべきだったのかも知れないというものもある。子供は若いころから育てたいような気がしていたのに。だが、若い頃にそう思うのも生物学的なメカニズムだったのかも知れない。50歳の現在は意識がやや薄らいでいた。だが全盛期の20代、30代でさえ、仕事が不安定だったからか、月日が経過してしまっていた。今日は休みなものでこれを書いたら、4つの新たなネット婚活で応募しまくろうと思う。ただ、一つの婚活で行き詰まったら、別の方法があるのではないかと思う思考の転換は大事である。何事にも。そうした所を根性と呼ぶのかも知れないが、発想の転換というか、違うことを考えてみるところに、分岐点があるのかも知れない。そもそも今回の最初は詐欺に遭う初期からのスタートである。場合によってはまだ詐欺に遭っていたかも知れないのである。事実は小説より奇なりである。助からなかったら連載ストップであっただろう。そして、リアルとは、想起して書いては無理な面があると思う。事が終えてから書いているわけではない。だから私にも今後どうなるかわからない。想起してから書いたのでは紛失されてしまう何か、日記形式という、この連載の方法にはあると思っている。そして私の失敗が、できれば今後の成功が、他の人への、対人への援助のなにかしらのヒントになれば良いなと思って書き続けている。